

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 28 日 (2009.5.28)

【公表番号】特表 2008-537748 (P2008-537748A)

【公表日】平成 20 年 9 月 25 日 (2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報 2008-038

【出願番号】特願 2008-505496 (P2008-505496)

【国際特許分類】

C 07D 215/22 (2006.01)

C 07D 401/12 (2006.01)

C 07D 417/12 (2006.01)

A 61K 31/5377 (2006.01)

A 61K 31/4709 (2006.01)

A 61P 35/00 (2006.01)

A 61P 43/00 (2006.01)

【FI】

C 07D 215/22 C S P

C 07D 401/12

C 07D 417/12

A 61K 31/5377

A 61K 31/4709

A 61P 35/00

A 61P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 6 日 (2009.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化合物が、

【表 1】

名称	構造
N- [3-フルオロ-4- ({6-(メチルオキシ) -7-[(3-モルホリン -4-イルプロピル) オキ シ] キノリン-4-イル} オキシ) フェニル] -N' - [2-(4-フルオロフ ェニル) エチル] エタンジ アミド	

である、化合物。

【請求項 2】

請求項 1 記載の化合物及び医薬上許容され得る担体を包含する医薬組成物。

【請求項 3】

請求項 1 記載の化合物又は医薬組成物の代謝物。

【請求項 4】

有効量の請求項 1 記載の化合物又は医薬組成物を包含する、キナーゼのインビボ活性の調節剤。

【請求項 5】

キナーゼのインビボ活性の調節が、前述のキナーゼの阻害を包含する、請求項 4 記載の調節剤。

【請求項 6】

キナーゼが、c - M e t、K D R、c - K i t、f l t - 3、及び f l t - 4 の少なくとも 1 つである、請求項 4 記載の調節剤。

【請求項 7】

キナーゼが c - M e t である、請求項 4 記載の調節剤。

【請求項 8】

不制御の、異常な、及び / 又は望まれない細胞活動に関連した、疾病又は障害を治療する薬剤であって、請求項 1 記載の化合物又は請求項 1 記載の化合物および医薬上許容され得る担体を包含する医薬組成物を包含する調節剤。

【請求項 9】

キナーゼのモジュレーターのスクリーニングの方法であって、前記のキナーゼが c - M e t、K D R、c - K i t、f l t - 3、及び f l t - 4 より選ばれ、請求項 1 記載の化合物、及び少なくとも 1 つの候補薬剤を合わせること、並びに前記のキナーゼの活性における候補薬剤の効果を決定することを包含する方法。

【請求項 10】

一つの細胞又は多数の細胞に、請求項 1 記載の化合物を包含する有効量の組成物を投与することを包含する、細胞での増殖活性を阻害する方法。

【請求項 11】

当該化合物が医薬上許容され得る担体との組み合わせで投与される、請求項 1 記載の調

節 劑。

【請求項 1 2】

当該化合物が医薬上許容され得る担体との組み合わせで投与される、請求項 1 0 記載の方法。